

# 琵琶湖洪水(S36.6型) の規模別確率評価

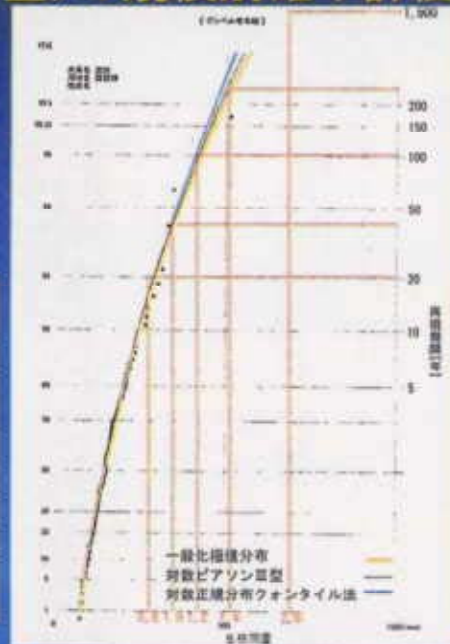
平成15年8月2日  
近畿地方整備局

0

## 琵琶湖洪水(S36.6型)の規模別確率評価

明治29年～平成10年  
までの琵琶湖流域平均  
5日雨量の年最大値の  
データをもとに確率分  
布を推定

洪水名	5日雨量 (mm)	確率年
S36.6		
0.8倍	276.8	約20
実績 (1.0倍)	346.0	約40
1.2倍	415.2	約100
1.5倍	519.0	約300
2.0倍	692.0	約1,500
参考		
M29.9 実績	513.0	約300



1

# 瀬田川～宇治川流下能力1500m<sup>3</sup>/sの効果

第20回委員会  
(H15.4.21)  
資料3-3

◆S36. 6月降雨によるシミュレーション



(現況 = 宇治川塔の島現況 + 天ヶ瀬ダム現況 + 瀬田川現況)

(整備後 = 宇治川塔の島改修(1500m<sup>3</sup>/s河道) + 天ヶ瀬ダム再開発 + 瀬田川改修)

2

## 実績の降雨での被害軽減シミュレーション

### 現況

琵琶湖総合開発事業が終了している現時点の河道状況、治水施設(湖岸堤、内水排除ポンプなどは現状)、洗堰操作規則での状態

### 整備後

将来的に瀬田川～宇治川の流下能力及び天ヶ瀬ダムの放流能力が、1,500m<sup>3</sup>/sに増大・増強された状態

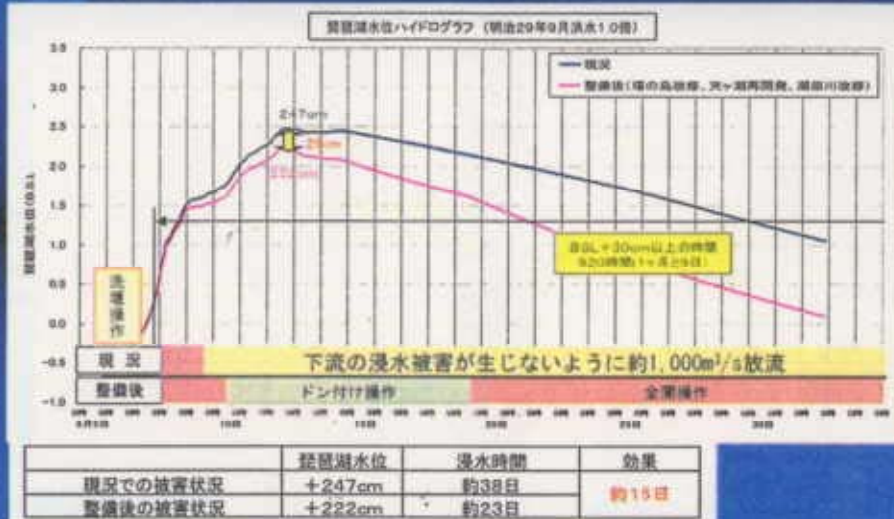
3



## 実績の降雨での被害軽減シミュレーション

明治29年9月洪水が現時点の整備状況で襲来したら……

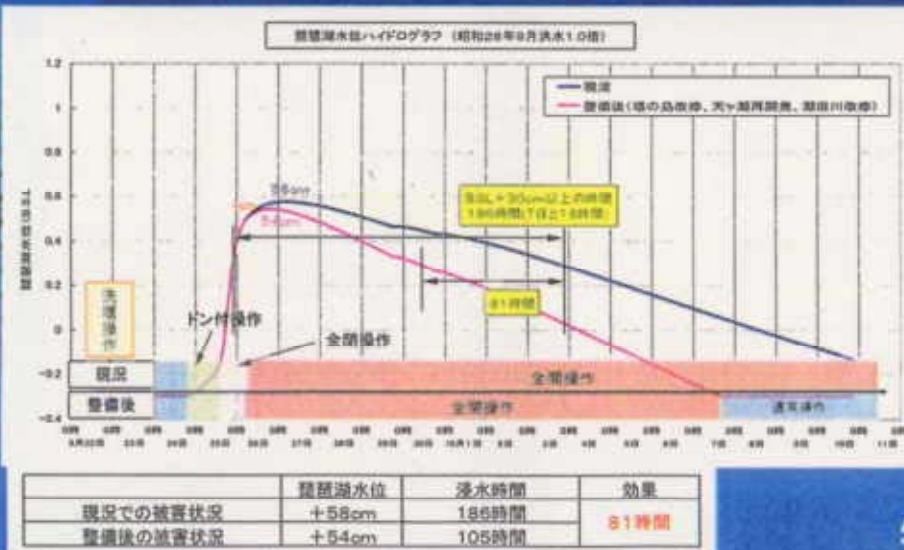
(上流：明治29年9月洪水1.0倍 下流：洪水なし)



4

## 実績の降雨での被害軽減シミュレーション

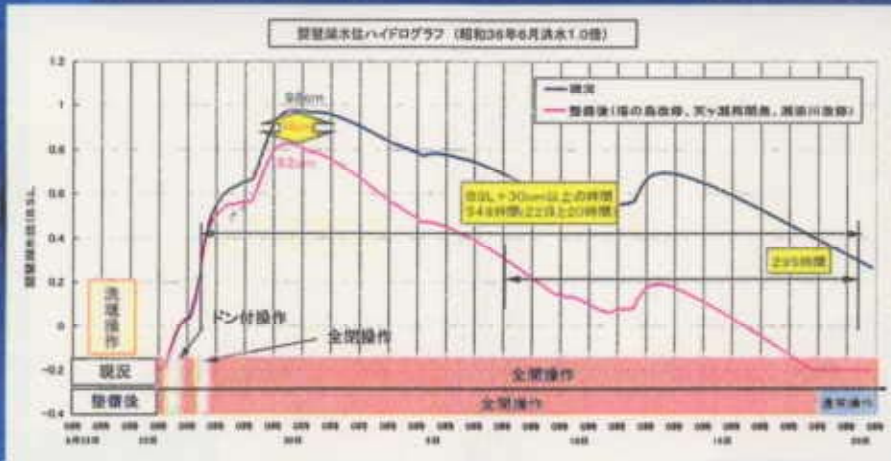
昭和28年9月洪水が現時点の整備状況で襲来したら……



5

## 実績の降雨での被害軽減シミュレーション

昭和36年6月洪水が現時点の整備状況で襲来したら……

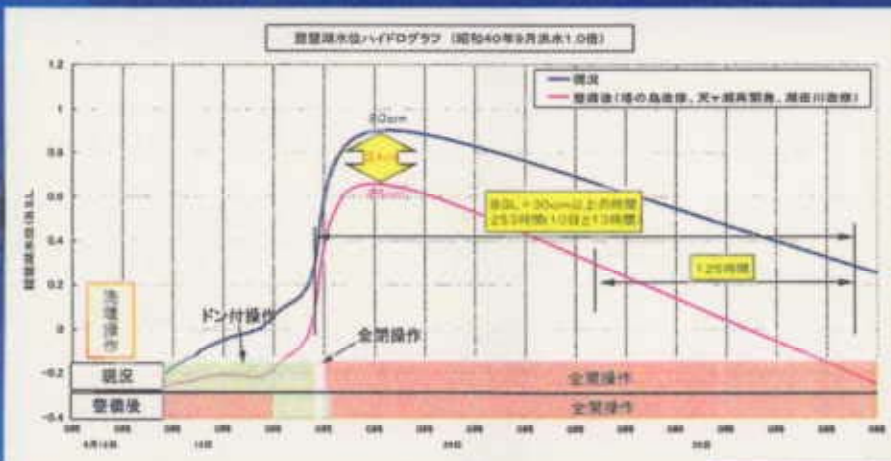


	琵琶湖水位	浸水時間	効果
現況での被害状況	+90cm	548時間	295時間
整備後の被害状況	+82cm	253時間	

6

## 実績の降雨での被害軽減シミュレーション

昭和40年9月洪水が現時点の整備状況で襲来したら……

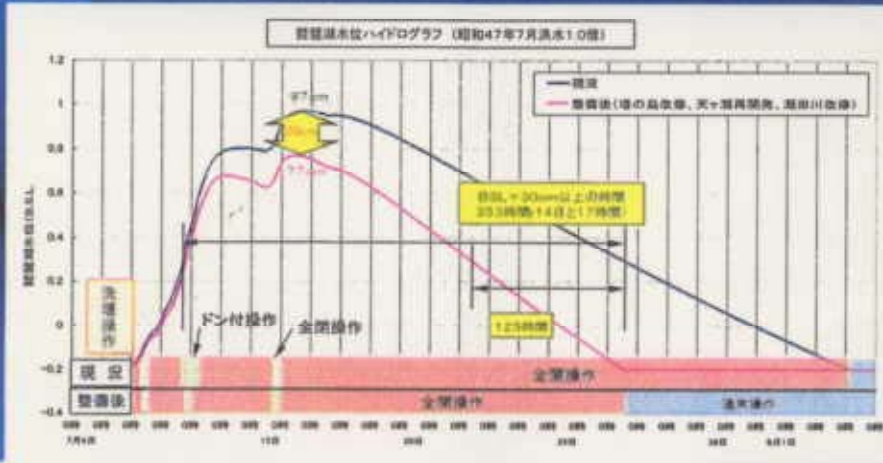


	琵琶湖水位	浸水時間	効果
現況での被害状況	+90cm	253時間	128時間
整備後の被害状況	+66cm	128時間	

7

## 実績の降雨での被害軽減シミュレーション

昭和47年7月洪水が現時点の整備状況で襲来したら・・・

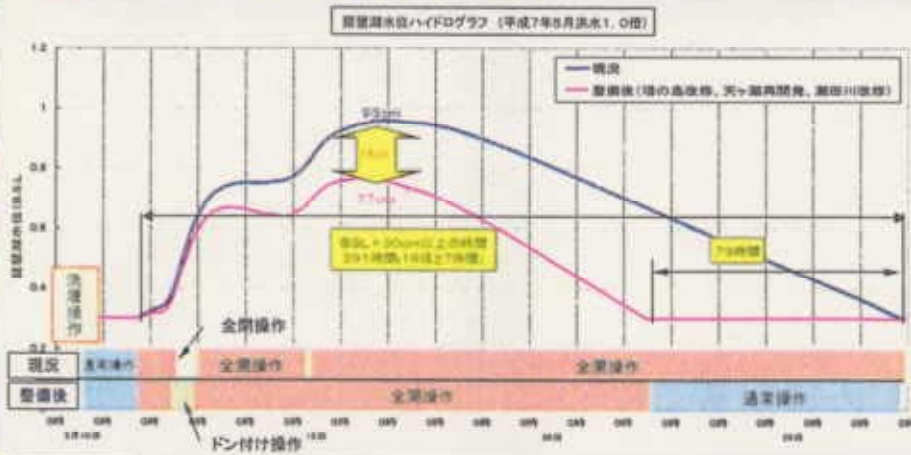


	琵琶湖水位	浸水時間	効果
現在の被害状況	+97cm	353時間	1.29時間
整備後の被害状況	+77cm	228時間	

8

## 実績の降雨での被害軽減シミュレーション

平成7年5月洪水が現時点の整備状況で襲来したら・・・



	琵琶湖水位	浸水時間	効果
現在の被害状況	+96cm	391時間	1.36時間
整備後の被害状況	+77cm	255時間	

9